

これまでの新年山行は、景信山から城山・高尾山や、景信山から明王峠・相模湖駅へのコースを取っていましたが、もう少し短いコースにしたいと思い、今年は「日連(ひづれ)アルプス」に行くことになりました。

中央線の藤野駅からバスやタクシーを使用しないで、歩いてスタートシゴールできます。歩行ルートが短くなったことにより、藤野駅は高尾駅より2つ先なのに、高尾駅集合の場合より家を出るのが1時間半余も遅くて楽でした。

中央線 東京発・大月行の電車は定刻に藤野駅に着き、快晴の空の下、10時35分にスタートしました。



藤野駅から、今日登る山々が見える。



← 日連大橋のたもとに着いた。抽象的なオブジェが迎えてくれる。橋はここから右にカーブしていて中央に見えるアーチの下を通る。



日連大橋の真ん中から相模川の上流側を見る。



金剛神社参道入口。ここから登山道だ。



拾三丁目標柱直上の休憩場で、防寒着を脱ぐ。

→ 身支度を整えて歩き出したが、ここからの道が急なうえに落葉が厚く積もって足の置場が見えず、思いのほか時間がかかってしまった。したがって、カメラを取り出しシャッターを押す余裕なし。



← 金剛山山頂に着いた。右側に小さい祠 ↑ 金剛山神社が祀られている。



峯山東側



峯山北側

金剛山から 10 分かつからず峰山頂に到着。ここで昼食を食べた。峯山は東側から北側の眺望が開けていて、左の写真では中央に藤野駅の跨線橋が見えている。中央自動車道を走る車も。ここから見える山々の名前を教える案内板があったが、それを写真に撮ることを忘れてきてしまった。



杉峠



日連山。ベンチで小休止。ここからは右手の下方に相模湖が垣間見えていた。



宝山。ここも日連山から8分で着いた。眺望がないので素通り。

峯山出発。このコースは金剛山から峯山・杉峠・日連山・宝山までこのような尾根を行く道が続く。周りの景色は冬枯れの木々の間から透けて見えるが、葉が茂っている季節だと何も見えないだろう。緑の中を行くのも気持ちがいいかも知れない。



左の写真は、このコースただ1個所の急坂。10m程度なので緊張の時間は僅か。ロープを使って難なく通過することができた。



日連アルプスコースの終点。後は集落の中の道に行く。



日連大橋に戻ってきました。振返れば今日歩いた山々が……。今年の“歩き初め”が無事に終了しました。藤野駅に着き、予定より1本早い電車に乗って、仲間たちが待つ新宿の新年会場に向かったのです。

(勝沼)

**参加者**  
星 富夫 山川 昭夫  
梶山 實 勝沼 正敬  
成田 修